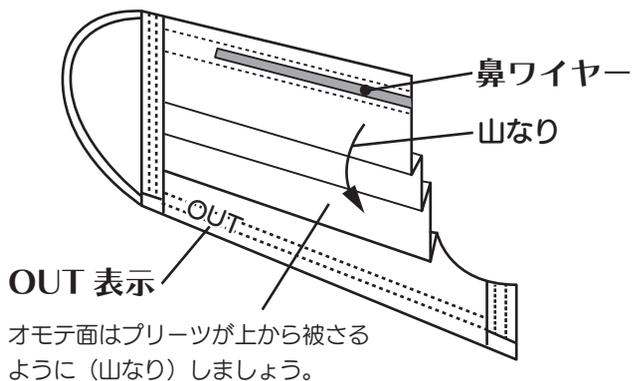


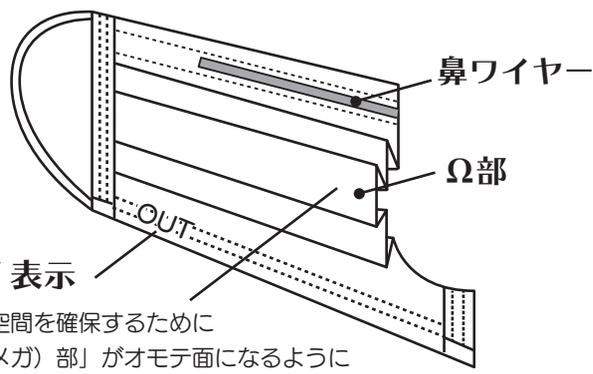
マスクのオモテ・ウラ

●通常プリーツ (折り目)



オモテ面はプリーツが上から被さるように (山なり) しましょう。

●Ωプリーツ (折り目)



口元の空間を確保するために「Ω(オメガ)部」がオモテ面になるように装着しましょう。

●マスクの表裏は耳ゴム、色に関わらず、**プリーツの向きで判断**し、正しく装着しましょう。

③各製造メーカーにより装着方法は異なります。しっかりと装着方法を読んでから使用しましょう。

●当社のマスクはオモテ面に「OUT」表示があります。「OUT」はアゴ下右に来るように装着してください。

正しいマスクの廃棄方法



①マスクの本体に触れず、ひもを持って外します。



②使用したマスクをゴミ箱に捨てます。



③手指をよく手洗いし、殺菌します。

マスクの性能知識

国内では、医療用フェイスマスクの性能規格基準は存在しません。従って、代表的な規格提唱機関である ASTM(旧・米国材料試験協会) が定める規格に則した評価が多く見られます。

表 ASTM F2100-11 医療用マスクの性能基準

評価項目	性能区分		
	レベル 1	レベル 2	レベル 3
微生物ろ過率 BFE %	≥ 95	≥ 98	≥ 98
微粒子ろ過率 PFE %	≥ 95	≥ 98	≥ 98
呼吸抵抗 mmH ₂ O/cm ²	< 4.0	< 5.0	< 5.0
人工血液耐浸透性 mmHg	80	120	160
燃焼性	Class1	Class1	Class1

いずれも AQL4.0% が要求されます。

レベル 3 は最高レベルです。(手術用マスクに使用。)

ファーストレイトのマスクはレベル 2 以上です。

微生物ろ過率 BFE ASTM F2101

装着者の呼吸中に含まれ、排出される微生物に対するマスクの微生物除去能で、黄色ブドウ球菌 (約 3 μm) をマスクに通し、除去された割合を示します。

微粒子ろ過率 PFE ASTM F2299

空中に浮遊する微粒子に対して用いられるマスク微粒子除去能で、約 0.1 μm のポリスチレンラテックス微粒子をマスクに通し、除去された割合を示します。

呼吸抵抗 ΔP MIL-M-36954C

指定流量の空気をマスクに通し、マスクの前後の圧力差を指します。小さい程、呼吸はし易くなります。

人工血液耐浸透性 ASTM F1862

予め 80、120、160mmHg に調圧された人工血液をノズルから 30cm 離れたマスクに吹付け、10 秒間マスクの裏側を観察して、人工血液の浸透の有無を目視し、浸透していない圧力をその耐浸透性としております。

燃焼性 16 CFR Part 1610

マスクの燃えやすさの指標で、Class1 はマスクの中心表面の 1 秒間点火後、燃え尽きるまでの時間 3.5 秒以上を指し、「燃え難い」ということを意味します。